

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業内容変更申請書

平成28年4月12日

和泉市長 あて

団体名 はつが野街づくり推進委員会
代表者名 田畑 道夫
所在地 和泉市はつが野
電話

交付申請内容について、下記のとおり変更の承認を受けたいので申請します。

記

- 1 団体番号 27
- 2 事業の名称 はつが野祭り
- 3 変更の理由 ちよいず事業支援金が目標額に達しなかったため規模の縮小を図るもの。
- 4 当初の事業概要 本年は、例年よりも自治会ブース模擬店のバージョンアップを図ったり、アトラクションも内容の充実を図る等を予定していたもの。
- 5 変更後の事業概要 自治会模擬店は例年並みの内容規模とし、祭りのアトラクションは、昨年同様地域内又は近隣の団体によるダンス、音楽演奏等とするもの。
- 6 当初の事業費総額 2,000,000 円 (うち、対象経費 1,650,000 円)
変更後の事業費総額 1,673,333 円 (うち、対象経費 1,357,000 円)
- 7 当初の交付希望額 800,000 円
変更後の交付希望額 533,333 円
- 8 添付書類
 - (1) 事業計画書(様式第3号)
 - (2) 収支予算書(様式第4号)

以上

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

様式第3号（第5条・第12条関係）

事業計画書

<p>申込事業の名称</p>	<p>はつが野祭り</p>	
<p>事業の必要性</p>	<p>(事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等)</p> <p>別紙1 のとおり</p> <p>(申し込み事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果)</p> <p>別紙1 のとおり</p>	
<p>事業内容</p>	<p>(主な対象者)</p> <p>別紙2 のとおり</p> <p>(事業実施期間)</p> <p>別紙2 のとおり</p> <p>(事業実施場所)</p> <p>別紙2 のとおり</p> <p>(問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施するのか)</p> <p>別紙2 のとおり</p>	
<p>事業スケジュール</p>	<p>時期(月)</p>	<p>内 容</p>
	<p>5月</p>	<p>イベント開催のテーマ、日時、場所、全体のスケジュールにつき協議</p>
	<p>6月</p>	<p>演目、出演候補の選定、各ブロックブースの出し物につき協議</p>
	<p>7月</p>	<p>舞台と音響設備、雨天の場合の対応、各ブースの費用、全体の収支につき検討</p>
	<p>8月</p>	<p>各ブロックブース計画書の提出、演目出演者の時間割決定、会場レイアウト、パンフレット作成につき協議、作文募集と題名を決定</p>
	<p>9月</p>	<p>事前準備と進行、作業分担につき協議</p>
	<p>10月</p>	<p>事前準備と進行の最終確認、パンフレットの作成配布、地域住民への案内</p>
	<p>11月</p>	<p>イベント「はつが野祭り」実施</p>

○ 事業の必要性

1 事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等

はつが野地区は、URが10数年前から開発した歴史の浅い住宅街であり、現在も新しい住宅がどんどん建っており、人口も増加している。移住して来るほとんどの方は、若くて小さな子供がいる家庭が多い。

したがって、親は、職場の同僚との交際が中心となり、近隣での交際範囲は狭く、浅く、遠慮がちで、希薄なものとなっており、地域住民としての連帯感が非常に薄い。

子どもは、近くの限られたごく少数の者としか遊ばない。多数の友達と遊ぶ機会がないので、他人に対する思いやりの心、譲り合いの心、助け合いの心、連帯感等が育たない。

また、世代間においても、隣の子どもの顔、近所のおっちゃん、おばちゃんの顔すら分からず、言葉をかけ合うことはほとんどないのが現状である。

2 申し込み事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果

このような状況下において、「はつが野祭り」を実施することにより、親同士が同地域住民として、もっと近隣者と親睦を図り親交を深めて、お互いに、困ったときには助け合い、喜びも悲しみも共に分かち合える連帯感の強い活気ある街をつくりたい。

また、子どもたちにとって「はつが野祭り」は、一緒にゲーム等をやることにより、友達を増やし仲良く楽しく遊べる場であり、仲間を愛し、地域を愛し、情操豊かな心を育む場である。やがて子供が成長した暁には、はつが野が自分の「ふるさと」として、いつまでも心に残る良い思い出づくりをして貰いたい。

さらに、世代間においても、子どもたちが安全・健全な環境の中で、すくすくと育つように、大人と子供の交流を図り、地域の子どもは地域で育てるという連帯感を醸成したい。

別紙 2

○ 事業内容

1 主な対象者

- 子ども（幼稚園・保育園児、小学生、中学生、高校生）
- 参加予定者数 3,000 人（子ども1,500人 大人1,500人）

2 事業実施期間

平成28年11月 6日（日）

3 事業実施場所

青葉はつが野小学校 グラウンド（雨天の場合は体育館）

4 どのような方法で、どのような事業を実施するのか

(1) 地域周辺の学校、団体、サークル等によるアトラクション

- ・ 中学校生徒プラスバンド
- ・ 幼稚園児ちびっこ鼓笛隊
- ・ よさこいソーラン
- ・ こどもジャズダンス
- ・ いずみ太鼓 等

(2) 自治会員によるゲームブース

- ・ 金魚すくい
- ・ ちびっこかけっこ
- ・ ミニグランドゴルフ
- ・ あめちゃんすくい
- ・ スピードガン
- ・ 囲碁将棋 等

(3) 地域内の飲食業者による飲食ブース（原価販売）

- ・ うどん
- ・ やきそば
- ・ おにぎり
- ・ パン 等

収 支 予 算 書

事業の名称： はつが野祭り

1 【収 入】

(単位：円)

項 目	金 額	積算根拠
支援金	533,333	あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金
事業収入	400,000	各ゲームブースからの売上金（11ブース）
自主財源	240,000	各自治会支出金（はつが野、3丁目、松風台）
協賛金	500,000	近隣の 商店、企業、医療施設 等
合計	1,673,333	

2 【支 出】

(単位：円)

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
委託料	220,000	舞台音響設備費
報償費	55,000	演目出演者支払
消耗品費	520,000	各ゲームブース材料代、ネームホルダー等
印刷・製本費	65,000	開催案内、パンフレット等の印刷
賃借料	420,000	レンタカー、テント、机等
役務費	52,000	通信費、運送費
食料費	25,000	スタッフ飲料水費
食料費（対象外）	130,000	スタッフ弁当代（300人）
抽選会商品代（対象外）	170,000	家庭電気製品等
その他（対象外）	16,333	役員会資料印刷費等
合計	1,673,333	
対象経費	1,357,000	

※費目は、別表（第9条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載して下さい。

3 その他

支援金内定額が交付希望額より少ない場合、申請事業の遂行は可能ですか。

（ はい ・ いいえ ）

「はい」と答えた団体のみご記入ください。

- ・申請事業の遂行のため、どのような取り組みや工夫を行いますか。

【 規模の縮小により経費の削減を図ります。 】

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援対象団体エントリーシート

平成27年10月29日

和泉市長様

団体名 はつが野街づくり推進委員会
代表者名 委員長 田畑 道夫
所在地 和泉市はつが野
電話

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金の交付を受けたいので、和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業に関する要綱第5条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

記

- 1 事業の名称 はつが野祭り
- 2 事業の概要 私たちの子どものために「みんなでいっしょにふるさと「はつが野」の思い出づくりをしましょう。」をテーマにして、祭りを通じてはつが野地域住民が親子ともども近隣、友達とのコミュニケーションおよび親睦を図り、心の通えるコミュニティをつくるため、アトラクション、ゲームブース、飲食ブース等を盛り込んだ、子供たちが楽しい思い出となる祭りを実施するもの。
- 3 事業費総額 2,000,000 円
(うち、対象経費 1,650,000 円)
- 4 交付希望額 800,000 円
- 5 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。
(はい ・ いいえ)
- 6 添付書類
- (1) 団体概要調書（様式第2号）
 - (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
 - (3) 事業計画書（様式第3号）
 - (4) 収支予算書（様式第4号）
 - (5) その他市長が必要と認める書類

以上

事業計画書

申込事業の名称	はつが野祭り	
事業の必要性	（事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等） 別紙1 のとおり （申し込み事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果） 別紙1 のとおり	
事業内容	（主な対象者） 別紙2 のとおり （事業実施期間） 別紙2 のとおり （事業実施場所） 別紙2 のとおり （問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施するのか） 別紙2 のとおり	
事業スケジュール	時期（月）	内 容
	5月	イベント開催のテーマ、日時、場所、全体のスケジュールにつき協議
	6月	演目、出演候補の選定、各ブロックブースの出し物につき協議
	7月	舞台と音響設備、雨天の場合の対応、各ブースの費用、全体の収支につき検討
	8月	各ブロックブース計画書の提出、演目出演者の時間割決定、会場レイアウト、パンフレット作成につき協議、作文募集と題名を決定
	9月	事前準備と進行、作業分担につき協議
	10月	事前準備と進行の最終確認、パンフレットの作成配布、地域住民への案内
	11月	イベント「はつが野祭り」実施

○ 事業の必要性

1 事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等

はつが野地区は、URが10数年前から開発した歴史の浅い住宅街であり、現在も新しい住宅がどんどん建っており、人口も増加している。移住して来るほとんどの方は、若くて小さな子供がいる家庭が多い。

したがって、親は、職場の同僚との交際が中心となり、近隣での交際範囲は狭く、浅く、遠慮がちで、希薄なものとなっており、地域住民としての連帯感が非常に薄い。

子どもは、近くの限られたごく少数の者としか遊ばない。多数の友達と遊ぶ機会がないので、他人に対する思いやりの心、譲り合いの心、助け合いの心、連帯感等が育たない。

また、世代間においても、隣の子どもの顔、近所のおっちゃん、おばちゃんの顔すら分からず、言葉をかけ合うことはほとんどないのが現状である。

2 申し込み事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果 団体・参加者・地域全体のメリット等

このような状況下において、「はつが野祭り」を実施することにより、親同士が同地域住民として、もっと近隣者と親睦を図り親交を深めて、お互いに、困ったときには助け合い、喜びも悲しみも共に分かち合える連帯感の強い活気ある街をつくりたい。

また、子どもたちにとって「はつが野祭り」は、一緒にゲーム等をやることにより、友達を増やし仲良く楽しく遊べる場であり、仲間を愛し、地域を愛し、情操豊かな心を育む場である。やがて子供が成長した暁には、はつが野が自分の「ふるさと」として、いつまでも心に残る良い思い出づくりをして貰いたい。

さらに、世代間においても、子どもたちが安全・健全な環境の中で、すくすくと育つように、大人と子供の交流を図り、地域の子どもは地域で育てるという連帯感を醸成したい。

○ 事業内容

1 主な対象者

- 子ども（幼稚園・保育園児、小学生、中学生、高校生）
- 参加予定者数 3,000 人（子ども1,500人 大人1,500人）

2 事業実施期間

平成28年11月 6日（日）

3 事業実施場所

青葉はつが野小学校 グラウンド（雨天の場合は体育館）

4 どの様な方法で、どの様な事業を実施するのか

(1) 地域周辺の学校、団体、サークル等によるアトラクション

- ・ 中学校生徒プラスバンド
- ・ 幼稚園児ちびっこ鼓笛隊
- ・ よさこいソーラン
- ・ こどもジャズダンス
- ・ いずみ太鼓 等

(2) 自治会員によるゲームブース

- ・ 金魚すくい
- ・ ちびっこかけっこ
- ・ ミニランドゴルフ
- ・ あめちゃんすくい
- ・ スピードガン
- ・ 囲碁将棋 等

(3) 地域内の飲食業者による飲食ブース（原価販売）

- ・ うどん
- ・ やきそば
- ・ おにぎり
- ・ パン 等

収 支 予 算 書

事業の名称 : はつが野祭り

1 【収 入】

（単位：円）

項 目	金 額	積算根拠
支援金	800,000	あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金
事業収入	400,000	各ゲームブースからの売上金（11ブース）
自主財源	300,000	各自治会支出金（はつが野、3丁目、松風台）
協賛金	500,000	近隣の 商店、企業、医療施設 等
合計	2,000,000	

2 【支 出】

（単位：円）

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
委託料	250,000	舞台音響設備費
報償費	290,000	演目出演者支払 10人
消耗品費	550,000	各ゲームブース材料代、ネームホルダー等
印刷・製本費	80,000	開催案内、パンフレット等の印刷
賃借料	470,000	レンタカー、テント、机等
役務費	10,000	通信費
食料費（対象外）	150,000	スタッフ弁当代（300人）
抽選会商品代（対象外）	150,000	家庭電気製品等
その他（対象外）	50,000	役員会資料印刷費等
合計	2,000,000	
対象経費	1,650,000	

※費目は、別表（第9条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載して下さい。

3 その他

支援金内定額が交付希望額より少ない場合、申請事業の遂行は可能ですか。

（ はい ）

「はい」と答えた団体のみご記入ください。

・申請事業の遂行のため、どのような取り組みや工夫を行いますか。

【 規模の縮小により経費の削減を図ります。 】

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。

※ この内容は、和泉市ホームページ等で公表します。